

SIC Annual Report 2014 (平成26年度事業報告)

平成 27 年 12 月 1 日改訂







INDEX

| 1 インキ | - ュベーション施設と入居企業 | | |
|-------------|--|-------------------------------|---|
| 2 3 4 | SIC-1 SIC-2 SIC-3 Desk⑩ SIC 全体 | p1. p3. p5. p7 p8 | 4 |

| 2 | SIC 実施事業 | |
|---|--|--|
| | 一経営サポートー1 企業支援2 セミナー | p9 p1 0.1 1 |
| | 一技術開発 –3 SIC 燃料電池研究会4 かながわ環境関連産業ネットワーク事業5 さがみはら表面技術研究所6 首都圏南西地域連携サポート事業 | p12 p13 p14 p15.16 |
| | 一人材育成一 7 SIC 経営塾 8 SIC 職場リーダー養成塾 9 SIC カイゼン・スクール 1 0 さがみはら子どもアントレプレナー体験事業 1 1 SIC アントレ・インターンシップ 1 2 サガツクナビ(地域産業界の人づくり支援事業) | p17 p18 p19 p20 p21 p22 |
| | - 資金調達- 13 SIC 1号投資事業有限責任組合 | p23 |
| | 一販路開拓一 14 台湾ビジネスサポート事業 15 ビジネスマッチング事業(首都圏南西地域連携サポート事業) | p 2 4 p 2 5 |
| | ーインキュベーションコンサルタントー 16 運営サポート事業 | p 2 6 |

| 3 | SIC 会社概要 | | | | | | | |
|---|----------|--------------------|-------|--|--|--|--|--|
| | 1 | さがみはら産業創造センターの歩み | p 2 7 | | | | | |
| | 2 | 主な事業と開始年度(カテゴリー別) | p 2 8 | | | | | |
| | 3 | 財務状況 | p 2 9 | | | | | |
| | 4 | 競争的資金の獲得 | p30 | | | | | |
| | 5 | SIC 及び SIC ファンドの出資 | p31 | | | | | |
| | 6 | スタッフ数の変遷 | p31 | | | | | |
| | 7 | 支援ネットワーク | p31 | | | | | |
| | 8 | 海外及び国内からの視察受け入れ | p32 | | | | | |
| | 9 | 新聞掲載 | p33 | | | | | |
| | 1 0 | 広報紙「かわらばん」の発行 | p34 | | | | | |
| | 1 1 | 株主と役員 | p3 5 | | | | | |
| | | | | | | | | |



1-1-1

SIC-1 (インキュベーションセンター)

入居対象

<新規創業者>

- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、 その事業化を目指す創業間もない企業および個人

<企業>

- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、 その事業化を目指す中小企業

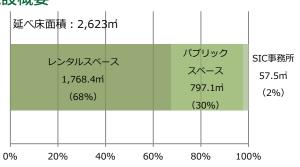
<専門家>

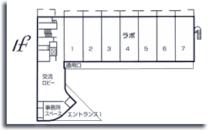
・入居企業および地域企業、創業者をサポートする ことの出来る専門家 (弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、デザイナーなど)

入居期間

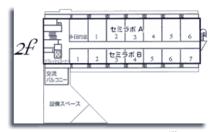
3年間(2年間の再契約が2回可)

施設概要





1 階平面図

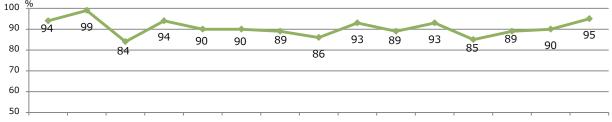


2 階平面図



| | ラボ | セミラボ A | セミラボ B | スモール オフィス A | スモール オフィス B |
|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 設置階 | 1階 | 2 階 | | 3 階 | |
| 部屋数 | 7室 | 7室 | 7室 | 11 室 | 13 室 |
| 床面積 | 94.5m ² | 47.3m ² | 31.5m ² | 23.6m ² | 17.3m ² |

入居率 (賃料ベース)



12年度 13年度 14年度 15年度 16年度 17年度 18年度 19年度 20年度 21年度 22年度 23年度 24年度 25年度 26年度



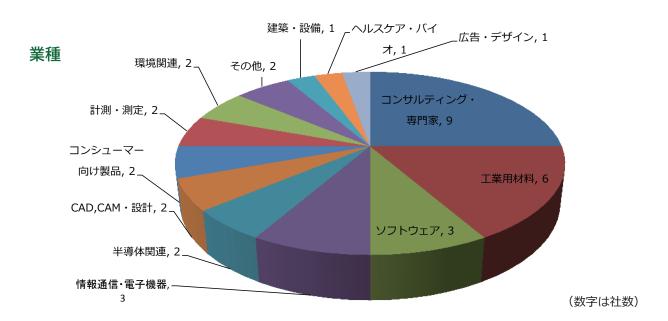






1-1-2

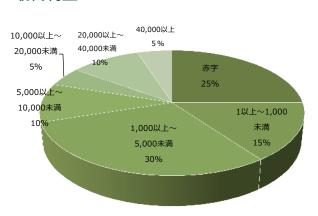
SIC-1 入居企業データ (平成 27 年 12 月 1 日調査時点)



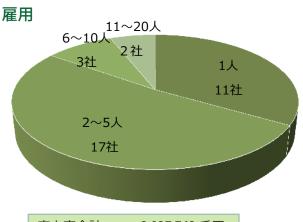
売上高

0 300,000以上~ 5% 400,000未満 1,000,000以上 5% 200,000以上~ 5% 300,000未満 10,000未満 10% 19% 100,000以上~ 200,000未満 10,000以上~ 50,000以上~ 10% 100,000未満 50,000未満 19%

最終利益 (税引き後利益)

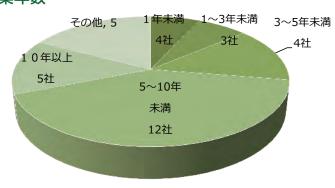


単位:千円 単位:千円



売上高合計 2,827,763 千円 雇用者合計 34 社 103 人

創業年数





1-2-1

入居対象

<企業>

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

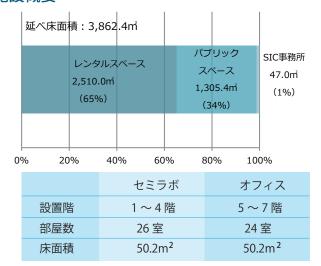
<産学連携企業等>

- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を 行おうとするグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、 企業、研究者等
- 大学研究室

入居期間

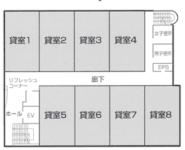
期間制限なし

施設概要



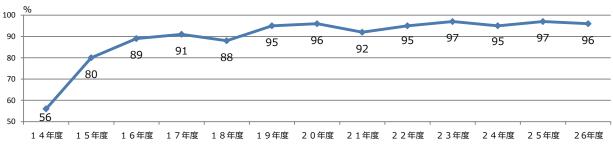


2~7F



2~7階平面図

入居率 (賃料ベース)



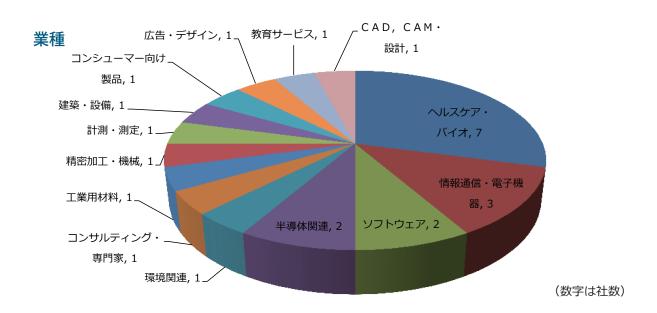






AGAMIHARA NCUBATION ENTER

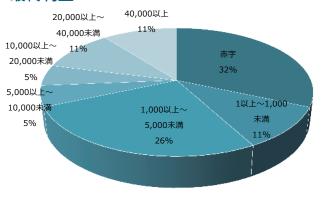
1-2-2



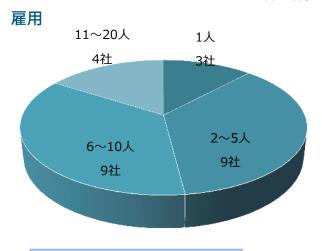
売上高

10,000以上~50,000 未満 700,000以上~ 1,000,000未満 100,000以上~ 700,000以上~ 700,000以上~ 700,000以上~ 300,000以上~ 300,000以上~ 11% 单位:千円

最終利益 (税引き後利益)



単位:千円



売上高合計 35,446,860 千円 雇用者合計 25 社 160 人

創業年数





1-3-1

SIC-3 (イノベーションラボ)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる 規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の 中小起業
- <産学連携企業等>
- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究 開発を行うグループ

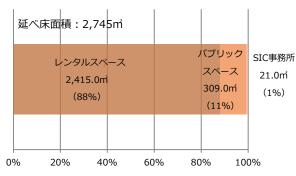


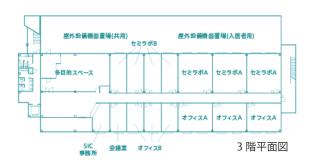
1階,中2階平面図

入居期間

5年間(再契約可能)

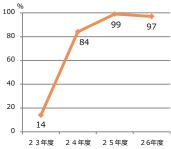
施設概要





| | ラボ | セミラボA | セミラボB | オフィスA | オフィスB |
|-----|-----------------------------------|------------------|-------|------------------|------------------|
| 設置階 | 1階 (中2階) | | 3階 | | |
| 部屋数 | 14室 | 3室 | 4室 | 4室 | 4室 |
| 床面積 | 84m ² 28m ² | 56m ² | 28m² | 42m ² | 21m ² |

入居率 (賃料ベース)







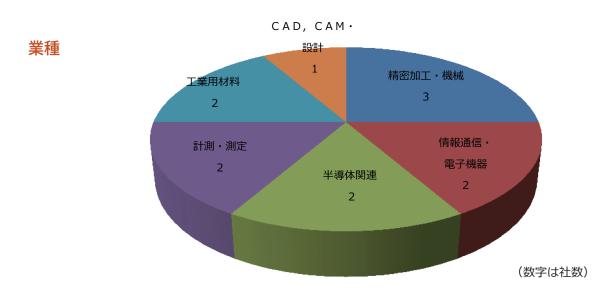




1 - 3 - 2

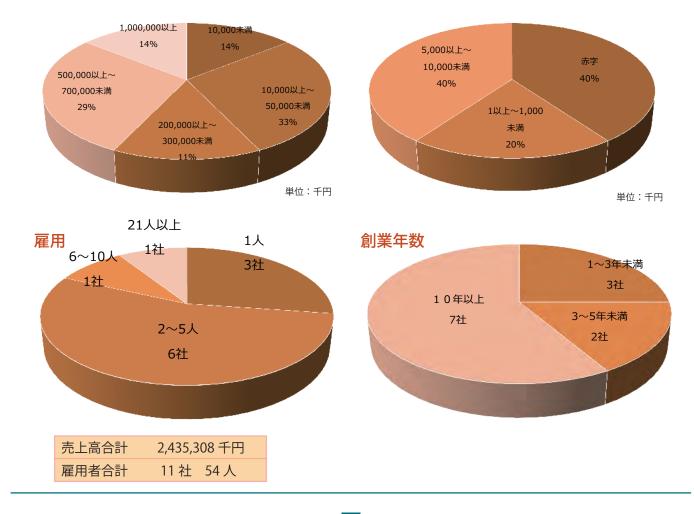
SIC-3

入居企業データ (平成27年12月1日調査時点)



売上高

最終利益(税引き後利益)





Desk⁽¹⁰⁾ (インキュベーション型シェアードオフィス)

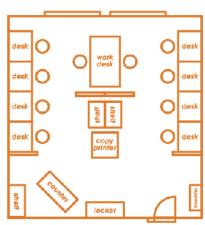
Desk¹⁰とは

Desk10(デスクテン)は創業者または創業準備中の方などがビジネスに必要な機能を他の会員とシェアすることでオフィスがリーズナブルに利用できるサービスです。事務機器や会議室なども利用できて、住所使用も可能。しかも、サービスを提供するのは10年にわたりインキュベーション施設を運営しているSICで、経験豊富なインキュベーションマネージャーも常駐しています。

各種サービス

オフィス平面図

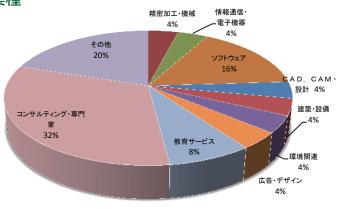
デスク (フリーアドレス)、ワークスペース、 オフィス機器、住所使用、専用ロッカー、打ち合わせ・商談スペース、 リフレッシュルーム、貸し会議室、秘書電話代行サービス



入居者数

者・人・企業 30 25 25 24 25 20 23 19 15 10 22年度 23年度 2 4年度 25年度 26年度

業種











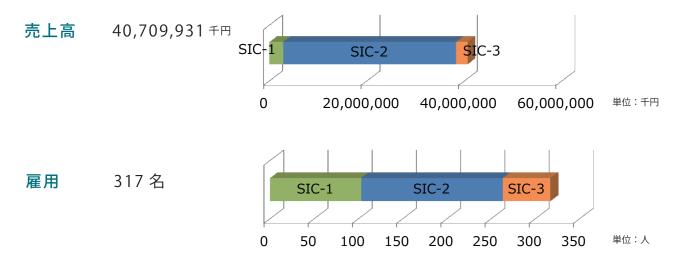






SIC全体

入居企業データ (平成27年12月1日調査時点)



知的財産(平成26年度内)

| | 特 | 許 | 実 用 🤃 | 新案 | 意 | 匠 | 商 | 標 |
|------|-----|----|-------|----|-----|----|-----|----|
| | 企業数 | 件数 | 企業数 | 件数 | 企業数 | 件数 | 企業数 | 件数 |
| 出願数 | 13 | 26 | 2 | 2 | 0 | 0 | 7 | 29 |
| うち海外 | 5 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 |
| 権利化数 | 7 | 32 | 1 | 1 | 1 | 3 | 5 | 18 |
| うち海外 | 3 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 6 |

研究開発補助金(平成 26 年度内) 17 社

神奈川県成長産業育成支援事業、平成 25 年度補正中小企業・小規模事業者 ものづくり・商業・サービス革新事業、ものづくり商業サービス革新補助金、相模原市中小企業研究開発補助金、厚労科研費補助金、第 92 回新技術開発助成、第 2 回試作開発補助金、ルーメン PH センサに関する農水省補助事業 SIP、H27 新エネルギーベンチャー技術革新事業、平成 26 年度中小企業経営安定・改善支援事業、A-STEP、H26 戦略的基盤技術高度化支援事業、平成 2 6 年度産学連携推進事業費補助金等

24 件

展示会出展(平成 26 年度内) 19 社 37 件 (海外開催含む)

OPIE2015、インターオプト 2015、モーター技術展、EU PV-SEC(アムステルダム)、IEEE/PV シンポジーム(米国デンバー)、SNEC Show(中国上海)、日本香粧品学会、かながわロボットイノベーション 2014、新価値創造店 2014、国際粉体展、BIO International 2015、ナノ・マイクロビジネス展、CITE JAPAN 2015、センサーエキスポジャパン、M-TECH(機械要素技術展)東京、トヨタ自動車内展示商談会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会、M-TECH(機械要素技術展)関西、エコプロダクツ展、動物感謝デー、テクノフロンティア、さいたまビジネスアリーナ、日本熱物性シンポジウム、Semion Japan、バイオジャパン、日本獣医内科学アカデミー、高機能フィルム展 東京、高機能フィルム展 大阪等

新製品・新サービス(平成26年度内) 14社 22件

斜方 NFTS プラズマ源の開発、SR モータードライバー、リンフリー伸線用処理剤 E1000、触媒の性能評価分析、環境大気の炭素成分分別測定、高効率太陽電池パネル発電特性検査システム、新料率シミュレーション、DB 抽出システム、Exeluce LED+Battery+Solar、PP- アラーム、エコセメント製造システム、ドッグフード(ピュアプロライン)、ST-Servo CMB、ST-Servo NTL、Smart Hair、NANA シリーズ(組込み基盤)、たいじのきもち、アレルミューン、セファメジン Z、OCOS(Optical Components Optimize Service)、SLG-150V、ビームロスモニター用デイジタイザー等



企業支援 経営サポート

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

| 経営課題支援の内容

対 象:入居企業·地域企業

支援手法:インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関:八千代銀行

支援契約数:業務委託契約55社、顧問契約11社(入居企業5社、地域企業6社)

| | 支 援 内 容 | 入居 企業数 | 地域 企業数 | 計 |
|--------|-----------------|-----------|-----------|------|
| 顧問契約 | | 5 社 | 6 社 | 11 社 |
| | 事業計画 | _ | 1 社 | 1 社 |
| | 補助金申請・進捗管理支援 | 8 社 | 8 社 | 16 社 |
| | WEB制作 | 1 社 | 3 社 | 4 社 |
| | 会社案内制作 | _ | 3 社 | 3 社 |
| | 製品案内制作 | _ | 1 社 | 1社 |
| | 動画制作 | _ | 4 社 | 4 社 |
| | 展示会PR支援 | 1 社 | 2 社 | 3 社 |
| 業務委託契約 | ビジネスマッチング | 6 社 | 2 社 | 8社 |
| | 海外展開 | _ | 3 社 | 3 社 |
| | 特許・商標 | _ | 1 社 | 1社 |
| | カイゼン・工場監査支援 | _ | 7 社 | 7 社 |
| | 人材育成 | _ | 3 社 | 3 社 |
| | 労務(就業規則) | _ | 1 社 | 1社 |
| | 計 | 21 社 | 45 社 | 66 社 |



2-2-1

経営サポート

セミナー(1)

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

対 象:入居企業・地域企業

| 実施事業 | 参加人数 | 具体的内容 |
|---------|------|--|
| 経営者セミナー | 43名 | テーマ:「新しいあたりまえ」発想に基づくニュービジネス創造 講師:大久保 秀夫氏 (株式会社フォーバル代表取締役会長) 日時:平成 26 年 2 月 19 日 (火) 場所:ユニコムプラザさがみはら |
| ミニセミナー | 13名 | The HINT 12 テーマ:相模原市補助金説明会・「補助金の活用や申請書のポイント」 講師:ストラテック株式会社 代表取締役 宇崎 勝氏 日時:平成 26 年 5 月 20 日 (火) 場所:さがみはら産業創造センター |
| | 7名 | The HINT 13 テーマ:「開発型企業の特許戦略」〜特許や商標等での留意点〜 講師:特許業務法人大貫小竹国際特許事務所代表 弁理士 大貫 和保氏 日時:平成 26 年 6 月 19 日 (木) 場所:さがみはら産業創造センター |
| | 20名 | The HINT 14 テーマ:「展示会出展のヒケツ」〜魅力あるブース作りや出展補助金のご紹介〜 講師:ワンプロモーション株式会社 代表取締役 櫛間 一緒 氏 日時:平成 26 年 7 月 17 日(木) 場所:さがみはら産業創造センター |
| | 24名 | The HINT 15 テーマ:「外国語でのホームページやメールのやり取りの基本」 講師:株式会社コンテックス 代表取締役 近藤 千奈美 氏 日時:平成 26 年 9 月 18 日 (木) 場所: さがみはら産業創造センター |



2-2-2

経営サポート

セミナー(2)

| 実施事業 | 参加人数 | 具体的内容 |
|--------|------|---|
| ミニセミナー | 17名 | The HINT 16 テーマ:「中小企業のためのホームページ制作・発注・運営のポイント」 講師:有限会社コウチヤ代表取締役 藤田 実氏 日時:平成 26 年 10 月 21 日 (火) 場所: さがみはら産業創造センター |
| | 14名 | The HINT 17 テーマ:「損益分岐点が分かる!!」〜決算書を活用して、将来の経営計画を検討する〜講師:天野俊裕税理士事務所代表 天野 俊裕氏日時:平成26年11月13日(木)場所:さがみはら産業創造センター |
| | 13名 | The HINT 18 テーマ:「ものづくり企業のデザイン活用の秘訣」 講師: こざ企画 代表 小崎 直利 氏 日時: 平成 27 年 1 月 15 日 (木) 場所: さがみはら産業創造センター *********************************** |
| | 20名 | The HINT 19 テーマ:「これって損?得?」会社経営と社会保険 講師:みどり社会保険労務士事務所代表 五十嵐 典子氏 日時:平成 27 年 2 月 17 日 (火) 場所: さがみはら産業創造センター |
| | 27名 | The HINT 20 テーマ:「企業間取引での契約書のチェックポイント!」 講師: 弁護士法人髙瀬総合法律事務所代表 髙瀬 芳明氏 日時: 平成 27 年 3 月 17 日(火) 場所: さがみはら産業創造センター *********************************** |



技術開発

SIC 燃料電池研究会

事業の目的

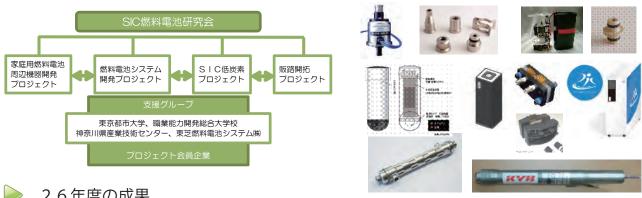
燃料電池及び新エネルギー関連分野に係わる産学官連携や企業間連携体を構築し、研究開発成果の事業 展開に向けたプロモーションを推進するとともに、展示会などへの出展や情報発信を行うことで、ビジ ネスチャンスの発掘と事業の拡大を図る。

事業概要

- 1. 家庭用燃料電池周辺機器開発プロジェクト
 - ・家庭用燃料電池『エネファーム』周辺機器開発やその他エネルギー及びシステムメーカーへのスペック イン(国内外関連企業との交流など)
- 2. 燃料電池システム開発プロジェクト (可搬型燃料電池システムの開発など)
 - ・100 ~ 500W クラスの研究会独自の燃料電池開発①②
 - ・高効率燃料(水素)供給システムの開発③
- 3. SIC低炭素プロジェクト
 - ・平成 21 年度経済産業省低炭素社会に向けた技術発掘
 - ・社会システム実証モデル事業の応用研究
 - ・ソーラープロジェクトの活動
- 4. 販路開拓プロジェクト
 - ・研究会活動における開発成果や関連する自社製品を市場へと結びつける仕組みを検討。



研究会の構成



26年度の成果

今年度会員数:民間企業13社(36名)2大学 1公設試が参画 (平成 25 年度 12 社より 2 社退会,新規入会 2 社・復帰企業 1 社,10 社継続入会)

【プロジェクト成果】

- ・平成 26 年度研究会活動概要説明会実施
- ·第1回全体合同研究会活動実施
- ・小型可搬型高純度低圧水素供給システムの開発開始
- ・各種開発部品や機器類の安全性・信頼性評価試験の実施
- ・テクニカルショウヨコハマ 2015 への出展
- ・2015 国際水素燃料電池展への出展
- ・第2回全体合同研究会実施

| | 大手企業 | 中小企業 | 大学・関係機関 |
|----|------|------|---------|
| 市内 | 2 | 6 | 0 |
| 市外 | 3 | 2 | 3 |



技術開発

かながわ環境関連産業ネットワーク事業

事業の目的

環境関連産業の多様な担い手が、自主的に参加できる新たなネットワークを構築し、専門コー ディネータによる起業・事業化支援策の紹介やビジネスマッチングなど、様々な取り組みを総 合的に展開することにより、環境関連産業の更なる振興を図る。

事業概念





活動概要

平成 23 年度より神奈川県内外より広く募集している、かながわ 環境関連産業ネットワーク会員から、関連するものづくり開発 テーマを募集し、以下クローズな発表会やグループミーティング などにて有力候補を絞り込み、共同開発プロジェクトの組成・公 的資金申請を計画し、実施した。



26年度の成果

- ○ネットワーク会員 127 名(昨年度 104 名)を確保。昨年度から23名の増員となった。
- ○第6回 創・蓄・省エネフォーラム(参加者35名)
 - ①「省エネ技術としての雨水利用システムがもたらす安全で安心な地域づくり」 山梨大学 名誉教授 雨水利用プロジェクト JV 山梨大学共同研究チーム 工学博士 山崎 晴明氏
 - ②「遊泳用プール、雨水再利用等の水処理(ろ過)技術の紹介」 株式会社アクアプロダクト 取締役 アクア事業部 事業部長 西ノ明 武氏
 - ③「- 環境とエネルギーを考えた研究開発 冷温水蓄熱システム オゾン水雨水再利用システム等の紹介」 株式会社リガルジョイント 技術部技術課 五十嵐 祐介氏
- ○第7回 創・蓄・省エネフォーラム(参加者60名)
 - ①「水素・燃料電池自動車安全性評価について~日本自動車研究所の取り組み」 -般財団法人 日本自動車研究所 FC・EV 研究部 三石 洋之氏
 - ②「かながわスマートエネルギー計画など神奈川県の取り組み」
 - 神奈川県産業労働局 エネルギー部 スマートエネルギー課 調整グループ 主査 大西 壮氏
 - ③「日産自動車 燃料電池自動車開発状況と課題~部品メーカーへの期待」 日産自動車株式会社 総合研究所 EV システム研究所 主任研究員 柳澤 政成氏
- ○第8回 創・蓄・省エネフォーラム(参加者55名)
 - ①「本格普及に向けたエネファームの今後の展開とビジネスチャンス」 東芝燃料電池システム株式会社 取締役技術統括責任者 永田 裕二

 - ②「エネファーム補機開発~本格普及 メーカーの現状」・株式会社リガルジョイント 技術部 井上幸太氏
 - ・日本コントロール工業株式会社 営業部 中村修氏
 - ・株式会社テージーケー 技術本部シニアエンジニア 仙道 功氏
 - ③「『環境・エネルギーフォーラム in 横須賀』の取り組み」
- 公益財団法人横須賀市産業振興財団 横須賀市産学官コーディネータ 上原 康滋氏
- ○事業化促進発表会 (参加者21名)
 - ①かながわ環境関連産業ネットワーク事業 過去の事例及び今年度総括と今後の展開(事務局より報告)
 - ②事業化促進発表会
 - 株式会社M&Kテクノロジー 代表取締役 城倉祐太郎氏
 - 株式会社共立 総合技術研究所 佐藤 有紀氏
 - ・株式会社エーシングテクノロジーズ 代表取締役 市川英政氏



技術開発

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。



活動実績

| | 活動内容 | 件数 |
|---|------------------------|-----|
| 1 | 技術相談・コーディネート・技術支援等 | 128 |
| 2 | 交流会・イベント開催 | 8 |
| 3 | 広報活動(講演・メディア掲載・ラジオ出演等) | 12 |
| | 合 計 | 148 |

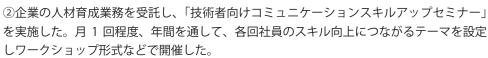


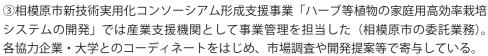


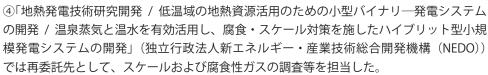
活動実績事例

1. 技術相談・コーディネート・委託業務等

①ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金に係る補助金(平成 25 年度補正・中小企業庁)では、各中小企業向けに申請書の作成支援、採択後は事業開発のアドバイスや推進のサポートを行った。支援した企業は、化学工業・電子部品・理化学機器・機械製造会社など多岐にわたり、定期的に年間を通して技術アドバイス等を行った。







⑤東北大学流体科学研究所と共同研究を行い、国際学会にて成果について発表した。 International Conference of Flow Dynamics「Construction of Lattice Constantin Aluminum Nitride Prepared by ECR Sputtering」. 次年度も継続して産学官連携のコラボレーションにより実施の予定。







2. 技術交流会・イベント開催

各種事業や協力機関と関係の深い顧客、共同研究者、装置メーカーらを招き交流会を開催した。アットホームな雰囲気の中で各人が交流できる場を提供し、企業同士のマッチングにも貢献している。別事業の子どもワークショップの1テーマを担当し、理科教育やものづくりへの興味を抱かせるようなイベントも実施した。



3. 広報活動 (講演・メディア掲載・ラジオ出演等)

立教大教授・山口義行氏が主宰する、中小企業サポートネットワーク Small Sun 配信のインターネットラジオでパーソナリティを務め、ものづくり企業を紹介している。

大学・学会や各種企業団体での講演に招聘され、表面研の活動を通して、オープンイノベーションや事業発展におけるコミュニケーションの大切さ等について紹介した。

雑誌「理科の教育」には、ものづくり技術に関わってきた経験から、これからの理科教育 の在り方について寄稿した。





2-6-1

技術開発

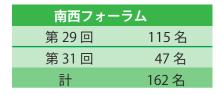
首都圏南西地域連携サポート事業(フォーラム)

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

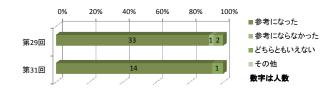


参加者数





顧客満足度





顧客の声

- ・タイプの異なる創業者(主婦、研究者、技術者)の考えを知ることができ参考になった。
- ・ビジネスを成功させるプロセスが良く分かって勉強になった。
- ・コアコンビタンスが重要であることを再確認した。
- ・同じ起業家としての起業動機の点が参考となった。
- ・アントレプレナーの方々の貴重なお話が聞けたいへん勉強になった。
- ・相模原市の産業について数字で見ることができて参考になった。



南西フォーラム

概要

第29回 平成26年7月2日

首都圏南西地域の近未来地図と産業創造

- ○「首都圏南西地域の潜在力」 相模原商工会議所 都市産業研究会 会長 中嶋 幸夫氏
- ○「町田、相模原のアントレプレナー」

株式会社マイファースト 代表取締役 吉田 ひろこ 氏/レボックス株式会社 代表取締役 CTO 三留 正浩氏/Super Ox Japan 合同会社 CEO セルゲイ・リー氏

第31回 平成27年3月19日

首都圏南西地域と産業の未来

- ○「首都圏南西地域の社会基盤整備と産業」 株式会社浜銀総合研究所 理事 八木 正幸 氏
- ○「ハスキーのグローバル戦略と日本法人」 ハスキー株式会社 社長 澤井 康治 氏
- ○「経済産業省の海外展開施策について」 経済産業省 関東経済産業局 産業部 国際課 課長補佐 井ノ上 賢治氏



2-6-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業(分科会)

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

| 宇宙科学 | 学研究会 | 3D プリンタ | 一分科会 | 業務用アプ | リ研究会 | ネイチャーイノベ | ーション研究会 |
|------|------|---------|------|-------|------|----------|---------|
| 第7回 | 20名 | 第1回 | 24名 | 第5回 | 18名 | 第1回 | 47名 |
| 第8回 | 26名 | 第2回 | 37名 | 第6回 | 27名 | | |
| | | 第3回 | 36名 | | | | |
| 計 | 46名 | 計 | 97名 | 計 | 45名 | 計 | 47名 |

| | | 開催日 |] | 内 容 |
|--------|-----|------------|----------|---|
| 宇宙科学 | 第7回 | 平成 27 年 2 | 2月18日 | 科学実験用大気球の開発 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 |
| 究科会学 | 第8回 | 平成 27 年 3 | 3月25日 | 中小企業と若い力が宇宙探査を変える 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 |
| | 第1回 | 平成 26 年 11 | 月 28 日 | 3D プリンターの最新情報と活用事例のご紹介 アルテック株式会社 |
| 3 | 第2回 | 平成 27 年 1 | I 月 19 日 | 3D プリンターの活用事例、ものづくりの現場から キヤノンシステムアンドサポート株式会社 |
| カプリ | 第3回 | 平成 27 年 3 | 3月 3日 | 3D プリンターの最前線ー光造形から金属造形ー |
| 分科会 | | | | ・光造形の最新動向とシーメット製品の特長 シーメット株式会社 |
| | | | | 金属技研株式会社の金属積層造形の取り組み金属技研株式会社 |
| | | | | ・コイワイにおける Additive Manufacturing 活用事例 株式会社コイワイ |
| | 第5回 | 平成 27 年 1 | 月 29 日 | スマートデバイスによるロケーションサービス モーションセンサーによる遠隔コミュニケーション |
| 業研務 | | | | 東京システム技研株式会社 |
| 業務系アプリ | 第6回 | 平成 27 年 3 | 3月23日 | ライフログ収集プラットフォームによるスマートホームサービス 富士通マーケティング |
| | | | | オープンデータ活用事例 _{青山学院大学} |
| 研究会 | 第1回 | 平成 27 年 3 | 3月26日 | ネイチャーテクノロジーによる産業イノベーション 東京農業大学 |



人材育成

SIC 経営塾

事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築 することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。



受講生

- 累計 118名 • 9名
- ・次世代の経営者や経営幹部の受講生が多い



顧客満足度





顧客の声

- 発表会が本当に素晴らしかった。
- ・学んだ事を可能な限り実践して来ましたが、 結果に出ている事が一番の満足度です。
- ・財務は、全く知らなかったので、勉強になり ました。
- ・現状分析の大切さ、そこから戦略していく事 の大切さを知る事が出来ました。今後に向け てターゲットを絞り、競争にまき込まれない 独自のブランドを作っていきます。有難うご ざいました。
- ・ありがとうございました。充実した日々でし た。



活動内容

講義

最先端の経営理論を 学びます。

●先端企業経営者の実体験や様々な先進的な ●課題図書、事例研究を基に、異業種の方々 ●実証的な研究や討論を通し、自社を客観的 取組み事例を通して最新の経営理論と実例を 学び、自社の課題に置き換えて検証します。 構想を構築する良い機会となるでしょう。



討論

塾生、コーディネータとの 討議を重視します。

との討論が自社を見つめ直し、自社の事業



事業構想の 再構築

最終ゴールは自社の 事業構想の再構築です。

に見つめ直し事業構想を策定し、自社に おける「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム:

| 回 | 課題シート・講義内容 |
|-----|------------------------------|
| 1 | オリエンテーション |
| 2-3 | わが社の経営の現状を語る(1泊2日合宿) |
| 4 | 現状を分析する |
| 5 | 存在意義を問う |
| 6 | コアコンピタンスを定義する |
| 7 | 戦略シナリオを考える |
| 8 | 財務構造を改善する |
| 9 | 組織文化の変革を仕掛ける |
| 10 | ビジネスプランを練り上げる |
| 11 | わが社の経営の将来を語る (自社の事業構想の発表) |



人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

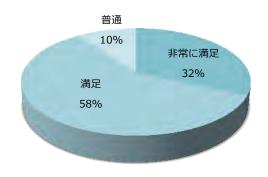
事業の目的

地域企業の様々な職場リーダーとの他流試合を通じてコミュニケーション力と課題解決力を養う。

受講生

19名 累計 121名

顧客満足度



顧客の声

- ・業種や役職の異なるリーダーのさまざまな考えを 聞くことができて、刺激を受けた。
- ・部下や同僚など、周囲を巻き込んで課題解決に取 り組むことの重要性を理解した。
- ・課題解決に必要な枠組みを理解しながら、研修中に実際に抱えている課題を解決することができた。
- ・コミュニケーション研修を通じて、効果的な部下 との接し方を学んだ。



受講生の年齢構成

| 20代 | 30代 | 40代 | |
|-----|-----|-----|--|
| 3名 | 12名 | 4名 | |



カリキュラム

| | 開催日 | 内 容 | | | |
|---|------------------------|--------------------------|--|--|--|
| 1 | 平成 26 年 6 月 7 日 | オリエンテーション・職場のコミュニケーション① | | | |
| 2 | 平成 26 年 6 月 18 日 | 目指す職場リーダー像を明確にする | | | |
| 3 | 平成 26 年 7 月 9 日 | 神性の問題を抽出する | | | |
| 4 | 平成 26 年 7 月 23 日 | → 職場の問題を抽出する | | | |
| 5 | 平成 26 年 8 月 6 日 | 職場のコミュニケーション② | | | |
| 6 | 平成 26 年 9 月 3 日 | 職場の課題解決①(課題設定、目標設定、原因推定) | | | |
| 7 | 平成 26 年 9 月 17 日 | 職場の課題解決②(対策検討、実行計画) | | | |
| 8 | 平成 26 年 9 月下旬 ~ 11 月下旬 | 社内実践期間 | | | |
| 9 | 平成 26 年 12 月 5 日 | 成果発表会 | | | |









人材育成

SIC カイゼン・スクール

事業の目的

企業が全社展開し、継続して実施することで経営体質の強化に結びつく"カイゼン活動"を 受講生が体系的に理解し、研修を通して自社内における課題を抽出してその解決に向けた カイゼン活動により「小さな成功」を生み出すことを目的としています。

受講生

- ・20名 累計 32名(平成25年は「SICカイゼン研究会」として実施)
- ・製造業の現場リーダー層を対象としています

<受講した企業の業種>

電子回路基板製造、センサー製造・販売、伸銅品製造、 計測機器製造・販売、金属表面処理加工、音響自動制御 機器開発・製造、化学品製造・販売、金属部品加工、 文具加工 など

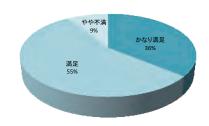


カリキュラム

| 日程 | | 講義内容 |
|-----------|-------------|--|
| 7月下旬~8月末 | 現場訪問 | 受講企業様の会社をカイゼン・アドバイザー が訪問し、現場診断とスクール受講の事前ヒ アリング |
| 9月13日(土) | オリエンテーション講義 | スクール開催のオリエンテーションとカイゼン 活動の目的、カイゼンの全体像についての講義 |
| 9月27日(土) | 工場視察① | 他社の工場を見学し、カイゼンのプロがどのような視点で現場を捉えていくのかを現場で実習 |
| 10月11日(土) | 講義・グループワーク① | カイゼンの手法について講義形式で学びます。 |
| 10月25日(土) | 講義・グループワーク② | 取り上げる内容は特に書籍や文献だけではわかりにくい手法についての講義とグループワーク |
| 11月15日(土) | 工場視察② | 他社の工場を見学し、それまでに学んだカイゼ ンの手法によるカイゼン提案を実施 |



受講生の満足度





修了生の声

- ・職場のあり方(教育・風土形成)など参考にしなければいけないことを体系的に学ぶことができた。
- ・他社さんの違う視点での考え方を学べたのも間違いな くプラスになりました。
- ・カイゼン活動をしている他社の作業現場を見る機会は あまり無いのですごく良い経験をすることができた。
- ・講義の中でグループワークなど、他の受講者の意見や 考え方が聞けて良かった。
- ・カイゼン推進のマインド、手法等について具体的実例 が引用されていたので理解しやすかった。
- ・現場実習と講義を組み合わせたカリキュラムだったので、飽きることなく参加できたのが良かった。







スクールの内容



受講生の課題の明確化

事前の現場診断、ヒアリングによって自 社の課題と解決の方向性を受講生自身 で明確化させます。



講義·現場実習

講義や現場実習を通じてカイゼン活動 の体系、考え方を学び、設定した課題 の解決方法を探ります。



カイゼン計画書

会社の経営方針に基づき、設定した課題解決に向けて、学んだカイゼン手法 を取り入れた具体的な実施計画書を策定してもらい、成果報告会で発表してもらいます。





事前現場診断、講義・現場実習の講師は (株)カイゼン・マイスターのアドバイザーです。



人材育成

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業

事業の目的

小学生を対象に初めて出会う仲間と会社設立から決算までの起業のプロセスを疑似体験する ことで以下のようなことを学ぶ。

- 1. 会社や経済の仕組みを知る
- 2. 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う
- 3. 自分の考えで行動できる力を養う
- 4. チームワークの大切さを知る
- 5. お金の大切さを実感する

参加者数

48 名 累計 571 名



顧客満足度

- ①会社の仕組みを理解することができた 93%
- ② 将来、自分で会社を作ってみたい 51%
- ③お金に対するイメージが変わった 88%

<保護者アンケート> 非常に満足 90%

> 満足 10%



▶ 参加者の声

- ・普段ふつうに使っていたお金がこんなに苦労して手に 入れていたとは思っていなかった。
- 事業を起こすのはとても大変で、すごくつかれました。 けど、みんなが協力できたから、最後完売できたんだ と思う。
- 会社のしくみがとてもよくわかった。
- ・とても楽しかった会社です。意見がまとまらない所も あったけど、みんなが責任を持っていました。
- ・会社は、チームワークやゆずりあうことも大切だと思
- 会社づくりはむずかしいことも大変なこともたくさん あるけどその一つ一つをのりこえているうちにすごく 達成感があってやりがいがありました。





保護者の声

- ・子供のうちから社会のあり方を知るのは、今後、自分 の将来を考えるきっかけになりいいと思います。
- ・商品が出来る流れ等を帰宅してから私達に説明出来る 程理解していた事と何よりも本人がとても楽しかった と言っていた。



事業概要

| | 開催日 | 内 容 |
|-----|---------------|-----------------------|
| 1日目 | 平成26年8月15日(金) | ・会社設立 ・事業計画書作成 |
| 2日目 | 平成26年8月16日(土) | ・融資交渉・材料仕入れ・商品製造 |
| 3日目 | 平成26年8月17日(日) | ・販売 ・決算 ・返済 ・報告会 ・修了式 |













人材育成

SIC アントレ・インターンシップ

事業の目的

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業の企画運営を通して、『既成の固定概念に捉われる ことなく、新たな領域に、自ら考え出したアイデアで、失敗を恐れずに挑戦する気概に溢れた人 材』とは何かを理解するとともに、実社会において社会人とはどうあるべきかを学ぶ。



参加者数

顧客満足度

16名 累計 123名





参加者の声(アントレ・インターンを一言で言うと。12 期生へのメッセージ)

- ① 他では味わうことのできない貴重な体験。 チャレンジ精神を養う場
- ② 新しい自分と素敵な仲間に出会えるところ!
- ③ 人生で一番濃い4ヶ月(になるかもしれない)
- ④ 大きく成長できるかは自分次第
- ⑤ みんなで考えるインターンシップ
- ⑥ 本気で本気になれる時間と最高の仲間に出会 えます
- ② 学生の内にはあまり無い経験ができました

- ⑧ 学校では絶対に学べないことを学べる場所!!
- ⑨ 自分の成長に必ずつながる!
- ⑩ 社会人に一歩近づけ、広い視野を持つことができる場所
- ⑪ 切磋琢磨できるインターンシップ
- 12 成長
- ⑬ 自分を少しでも変えるチャンスだと思います
- (4) Challenge!!
- ⑤ 絶対に成長できる!
- ⑯本当にやって損のないインターンシップ!!



事業概要

毎年8月に開催する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」の企画運営を大学生が中心となって行うものです。

| | 開催日 | 内 容 | 概 要 |
|---|--------------------------|----------------|--|
| 1 | 平成26年6月8日(日) | キックオフ | 経営者講演、ビジネスマナー研修 |
| 2 | 平成26年6月15日(日) | アントレ理解 | 子どもアントレ1日体験 |
| 3 | 平成26年6月22日(日) | コミュニケーション研修 | 受講生同士のコミュニケーションの促進や チームワークの強化方法について学ぶ |
| 4 | 平成26年6月~8月 | 企画・準備 | 企画、準備を行う |
| 5 | 平成26年7月13日(日) | コーチング研修 | 子どもの考えや思いの引き出し方を学ぶ |
| 6 | 平成26年8月15日(金) ~17日(日) | 子どもアントレ | 小学生に会社経営の疑似体験プログラムを提供する |
| 7 | 平成26年10月24日(金) | アントレ実施結果報告、修了式 | アントレの実地結果を報告 |









人材育成

サガツクナビ(地域産業界の人づくり支援事業)

事業の目的

「地元企業の採用の円滑化」「地元企業を志望する学生の就職活動の円滑化」を目的に、地元企業と学生の出会いを "作り" "つなぐ" 活動を行っていく、地元密着型の就職支援サービスです。

SIC がこれまでに取り組んできた、リアルとしての就職支援活動(企業訪問バスツアー、個別企業見学会、企業と学生の交流会、インターンシップ、その他)と、バーチャルとしてのインターネットでの企業情報の集約・情報発信を融合させた支援活動を行っていきます。

▶ インターネットサイト訪問総数

「サガツクナビ」として現在インターネット上で sagatukunavi.com というドメイン名で地域企業情報や学生の会員登録などを受け付けるポータルサイトを運営している。

このポータルサイトへのアクセス件数は年間 15,796 件である。アクセスが一番多い地域は横浜市の 3,928 件、次に相模原市の 3,310 件となっている。その他のアクセスの大半は関東圏に集中するものの、全国からアクセスされている。



サガツクナビ会員数

サガツクナビは会員である企業に絞って掲載をさせて頂いている。会員制としているのは、本ポータル サイトで掲示する企業内容に関して弊社にて掲示することに差支えのない事業内容かどうかを事前に スクリーニングすることと、将来的な事業化、自立化も念頭においているためである。平成27年3月 末現在の企業会員数は114社であり、相模原市内企業を中心として県央地域の企業までをその掲載範囲 としている。

また学生に対してもサガツクナビ学生会員として登録することができるサービスを提供している。学生会員には定期的に企業求人情報やイベント情報が掲載されたメールマガジンを発行している。メールマガジンは年間を通じて 24 回の配信実績を持ち、学生で 1,221 名、教職員 1,154 名、地域企業 232 名の延べ受信者数となった。



▶ サガツクナビイベント参加者数

サガツクナビでは定期的に企業と学生、企業と大学関係者などが交流するイベントを実施している。 今年度は学生・教職員・企業の交流するイベントで年間 61 回の開催を記録した。参加実績としては延べ 641 名の大学生、37 名の教職員、142 社の地域企業の参加となった。

| カテゴリ | イベント交流対象 | イベント名 | 学生参加数 | 教職員参加数 | 企業参加数 | 延べ人数 | |
|---------|----------|---------|-------|--------|-------|------|--|
| 交流会 | 就活性と企業 | ジョブミーツ | 57 | 14 | 63 | 124 | |
| 文则云 | 学生と企業 | ジョブトーク | 37 | 14 | US | 134 | |
| 見学会 | 企業と教職員 | 企業見学ツアー | | | | 443 | |
| 元子云 | 企業と教職員 | 大学見学ツアー | 393 | 23 | 27 | | |
| 講義 | 学生と企業 | 出前講義 | | | | | |
| 15.h 5. | 学生と企業 | 交流会企画等 | 101 | | FO | 0.40 | |
| インターン | 学生と企業 | 企業取材 | 191 | | 52 | 243 | |
| | | 延べ人数 | 641 | 37 | 142 | 820 | |



資金調達

SIC1 号投資事業有限責任組合

事業の目的

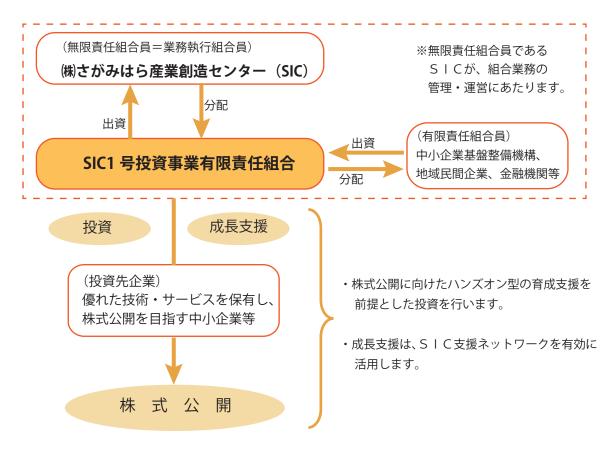
・SICの金融支援サービス機能の強化 (ハンズオン型企業成長支援の確立)

投資先企業

| 地域 (投資時) | | 設立年月(投資時) | | 現在の状況(27年3月末) | |
|----------|------|-----------|------|---------------|------|
| SIC 入居企業 | 6 社 | 設立7年未満 | 11 社 | 保有継続企業 | 3 社 |
| 神奈川県 | 1 社 | その他 | 0 社 | 回収済企業 | 5 社 |
| 東京都 | 4 社 | | | 未回収企業 | 3 社 |
| 計 | 11 社 | 計 | 11 社 | 計 | 11 社 |

内容

- ・平成17年11月に5億円のファンドを組成
- ・現時点までに設立7年未満のアーリーステージの企業11社に344百万円を投資実行
- ・ファンドの満期(平成 27 年 10 月)を見据えて、投資先企業の成長支援を継続するとともに、出口戦略を明確にし、投資回収に向けた交渉を行う。





販路開拓

台湾ビジネスサポート事業(海外販路開拓支援事業)

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。特に、中国への足掛かりを有し、市場の成長性、電子業界の集積度、生産技術力が高く、産業のインフラが整っている「台湾」をターゲットとする。

事業概要

| 日 付 | 内 容 | 参加実績 |
|--------------------------|--|---|
| 平成 27 年 3 月 5 日 ~ 7 日 | 台湾の機械産業を知るツアー 於:台湾(台北・台中) 「経営手法改善研究会、台湾機械工業同業公会 (TAMI) 及び機械振興協会との連携にて、 台北国際工作機械見本市(TIMTOS)の見学や 台湾企業との交流会懇親会を開催」 | <交流会懇親会> 台湾企業 16 社 32 名 日本企業 15 社 22 名 <商談実績> 販売代理店依頼 1 件 |

個別支援

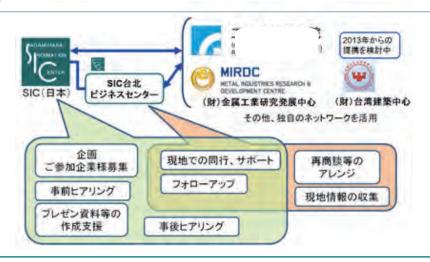
- ①平成25年度「日台環境・建築ビジネスマッチング」参加企業の継続的フォローアップ
- ②台湾商品輸入販売に向けた市場調査及び台湾企業との商談サポート
- ③TAITRA 東京事業所の協力による台湾企業からの調達に関する商談サポート
- ④台湾からの物品調達の調査・商談サポート

> 顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先がみつかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。



運営体制





販路開拓

ビジネスマッチング(首都圏南西地域連携サポート事業)

事業の目的

製造業の空洞化などにより、従来の取引関係の構造が変わりつつある中、技術開発の新たな担い手と期待される南西地域の中小企業が自社の強みをアピールし、新しいパートナーシップを築く。



事業概要

首都圏南西地域の産産マッチングの機会とするため、新事業開拓に意欲的な企業3社の抱える技術ニーズを公開し、首都圏南西地域の優れた技術、ノウハウを持つ企業から提案を行う機会として実施した。

日時:平成26年11月25日(火) 14:00~17:30

場所:サン・エールさがみはら ホール

参加者:60 団体 100 人

(企業団体 49 団体 65 人、大学 2 機関 2 人、 金融機関 4 機関 5 人、支援機関 5 団体 28 人) <二一ズ企業>

- 株式会社東芝
- ・富士工業株式会社
- 横河電機株式会社



商談数と成果

マッチング状況

| プレゼン企業 | 応募企業 | 提案企業 | 面談 | 二次面談 | 現状 |
|---------|------|------|------|------|--------|
| (株)東芝 | 8社 | 8社 | 6社 | 4 社 | 企業間で商談 |
| 富士工業(株) | 3 社 | 3 社 | 3 社 | _ | 企業間で商談 |
| 横河電機(株) | 4 社 | 3 社 | 3 社 | _ | 企業間で商談 |
| 計 | 15 社 | 14 社 | 12 社 | 4 社 | |



インキュベーションコンサルタント 運営サポート事業

事業の目的

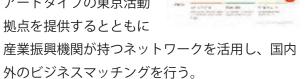
新たにビジネスインキュベータを整備しようとする機関に対しSICが長年培ってきた企業支援、支援ネットワークの構築、施設運営、BI経営に関する知識やノウハウを提供する。

► T-BISC(Tokyo business incubation support center)の 整備、運営のサポート

【設立趣旨】

一般財団法人機械振興 協会と全国の産業振興機 関がコンソーシアムを結 成し、地方のビジネスイ ンキュベータに入居する 創業間もない企業にシェ アードタイプの東京活動 拠点を提供するとともに









さがみはら産業創造センターの歩み

| 1998 年度 (平成 10 年度) | ・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言 |
|-----------------------|---|
| 1999 年度 (平成 11 年度) | ・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団(現中小企業基盤整備機構)が出資し会社設立・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第1回女性起業家育成セミナー開催 |
| 2000 年度 (平成 12 年度) | ・S I C ー 1 (インキュベーションセンター)オープン ・第 1 回ビジネスプランコンテスト開催 |
| 2001 年度 (平成 13 年度) | 第1回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催・増資…相模原市、地域振興整備公団(現中小企業基盤整備機構)、地元企業が出資 |
| 2002 年度 (平成 14 年度) | ・SIC-2 (ポストインキュベーションセンター)オープン・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託 ・第1回「SIC経営塾」開講 |
| 2003 年度 (平成 15 年度) | ・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業450社の実態調査を実施 |
| 2004 年度 (平成 16 年度) | ・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第1回「SICアントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん(入居企業版)創刊号発行 |
| 2005 年度 (平成 17 年度) | ・SIC1号投資事業有限責任組合(SICファンド)を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託・SIC燃料電池研究会が発足 ・第1回 SIC 起業家塾開講 |
| 2006 年度 (平成 18 年度) | ・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託 |
| 2007 年度 (平成 19 年度) | 第1回職場リーダー塾開講SPS研究会が発足 |
| 2008 年度 (平成 20 年度) | ・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん (地域企業版) 創刊号発行 |
| 2009 年度 (平成 21 年度) | ・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター(経営指南者)制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成 に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託 |
| 2010 年度 (平成 22 年度) | ・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK⑩」オープン ・第1回台湾ビジネスマッチングを開催 |
| 2011 年度 (平成 23 年度) | ・台湾工業技術研究院と連携協定を締結 ・SIC-3(イノベーションラボ)オープン ・SIC台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見!」出版 ・地域発信冊子「韮尾根のブルーベリー」発行 |
| 2012 年度 (平成 24 年度) | ・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 を受託 ・インキュベーションセンター「T-BISC」、「MBDA」の計画・運営サポートを受託 ・第1回 SIC カイゼン研究会開講 ・第1回南西フォーラムビジネスマッチング開催 |
| 2013 年度 (平成 25 年度) | 財団法人台湾建築中心と連携協定締結財団法人金属工業研究発展中心と連携協定締結 |
| 2014 年度 (平成 26 年度) | ・地域密着型就職支援事業「サガツク」 を開始 ・全国中小企業団体中央会 「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業受託 |



主な事業と開始年度(カテゴリー別)

| 年度 | ラボ・オフィス | 経営サポート | 技 術 開 発 | 人材育成 | 資 金 調 達 | 販路開拓 |
|-----------------------|---------------|---|--|--|--------------------------|---|
| 1999 年度 | | ・ビジネスプランコンテスト | ・新規成長産業連携支援 | ・女性起業家育成セミナー | | |
| (平成 11 年度) | 616.1 | 14_1 \ \ 100 54 | 事業 | | | |
| 2000年度 (平成 12年度) | SIC−1 オープン | ・株式公開塾 ・入居企業セミナー | ・中小企業のための技術セミナー | | | |
| 2001 年度 (平成 13 年度) | | , vol. E. K. C. C. | ・ミニコンソーシアム 事業 | ・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(小学生) | | |
| 2002 年度 (平成 14 年度) | | ・アントレフォスター事業・中小企業のデザイン開発支援 | ・経済産業省「即効型 地域新生コンソーシアム」 受託 | SIC 経営塾・さがみはら 子どもアントレプレナー 体験事業 (中高生) | | ・KSP ベンチャー マッチング商談会に 参画 |
| 2003 年度 (平成 15 年度) | | ・八千代起業家支援 プログラム・地域企業実態調査 (450社) | ・大学シーズ調査 | ・SIC 経営者セミナー | | |
| 2004年度 (平成16年度) | | ・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業・かわらばん(入居企業版)創刊号発行 | ・新技術創造研究会 | ・SIC アントレ・インターン | | |
| 2005 年度 (平成 17 年度) | | | ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託・燃料電池研究会発足 | ・SIC 起業家塾 | • SIC1 号投資事業 有限責任組合組成 | |
| 2006 年度 (平成 18 年度) | | ・チャレンジショップ | ・「首都圏南西地域産業活性 化フォーラム」受託 | | ・入居企業4社、地域 企業3社に出資 | |
| 2007 年度 (平成 19 年度) | | | • SPS 研究会 | ・SIC 職場リーダー養成塾 | | |
| 2008 年度 (平成 20 年度) | | ・中小企業のカイゼン 活動支援 ・かわらばん (地域企業版) 創刊号発行 | ・実用化開発支援 | | | ・SIC テクノロジー マッ チング・KSP 協創マッチング フォーラムに参画 |
| 2009 年度 (平成 21 年度) | | ・メンター制度・さがみはら企業力支援事業・地域企業実態調査(500社) | ・経済産業省「低炭素社会 に向けた技術発掘・社会 システム実証モデル事業」 受託 | 支援事業 | | |
| 2010年度(平成22年度) | DESK⑩ オープン | ・ソーシャルビジネス創育 支援事業 | ・高度研究人材活用事業 (さがみはら表面技術研究所) ・神奈川県バイオベン チャー人材活用事業 | | | ・台湾ビジネス マッチング開催・川崎市産業振興財団 新事業マッチング フォーラム参画 |
| 2011 年度 (平成 23 年度) | SIC-3 オープン | ・企業紹介冊子「おもしろ 企業の魅力拝見!」 出版 ・地域発信冊子「韮尾根 のブルーベリー」発行 | 経済産業省「戦略的 基盤技術高度化支援 事業」受託 新製品開発のための 「協創プロジェクト」 相模原市から「新技術 実用化コンソーシアム 形成支援事業」受託 | · iSB 公共未来塾 | | 台湾工業技術研究院 と協定SIC 台湾ビジネス センターオープン |
| 2012 年度 (平成 24 年度) | 「MBDA」 | ・SIC カイゼン研究会 ・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行 | ・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」 | ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー・子どもワークショップ | | ・日本台湾アライアン スセミナー ・南西フォーラムビジ ネスマッチング |
| 2013 年度 (平成 25 年度) | | | ・可搬型燃料電池・飲料 水供給装置の開発 | | | ・財団法人台湾建築中 心、財団法人金属工 業研究発展中心と連 携協定を締結 ・日台環境・建築ビジ ネスマッチングを開催 |
| 2014年度 (平成 26年度) | | | ・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・規模事業者連携支援事業」・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト | | | |



財務状況

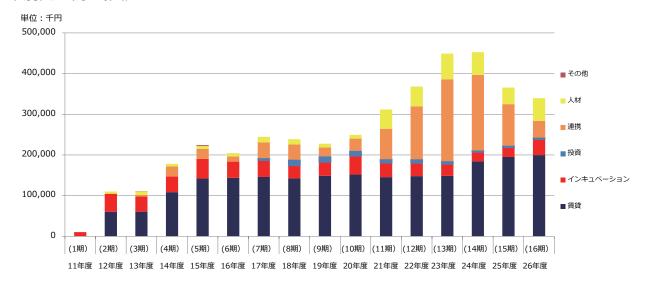
P/L推移



単位:千円

| | 11年度 (1期) | 12年度 (2期) | 13年度 (3期) | 14年度 (4期) | 15年度 (5期) | 16年度 (6期) | 17年度 (7期) | 18年度 (8期) | 19年度 (9期) | 20年度(10期) | 21年度 (11期) | 22年度(12期) | 23年度(13期) | 24年度(14期) | 25年度(15期) | 26年度 (16期) |
|------|--------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------------------|-----------|------------|
| | (1州) | (2知) | (3州) | (4州) | (5州) | (0州) | (/州) | (6州) | (9州) | (10班) | (11班) | (12刑) | (13州) | (1 4,// /) | (10州) | (10州) |
| 売上 | 10,429 | 110,264 | 111,008 | 178,323 | 224,271 | 204,022 | 244,523 | 238,812 | 227,805 | 247,560 | 311,824 | 368,145 | 449,221 | 452,739 | 365,658 | 339,759 |
| 営業利益 | -22,122 | 1,257 | -3,455 | -4,101 | 32,523 | 19,804 | 9,914 | 4,219 | 5,620 | 11,946 | 16,397 | 9,080 | 19,283 | 18,649 | 24,640 | 14,298 |
| 経常利益 | -19,522 | 3,922 | 1,256 | 1,817 | 35,141 | 21,656 | 11,200 | 5,910 | 4,242 | 11,604 | 4,514 | 10,568 | -2,082 | -1,641 | 23,436 | 14,711 |

事業別売上高の推移



単位:千円

| | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | (1期) | (2期) | (3期) | (4期) | (5期) | (6期) | (7期) | (8期) | (9期) | (10期) | (11期) | (12期) | (13期) | (14期) | (15期) | (16期) |
| 賃貸 | 0 | 60,473 | 60,622 | 108,655 | 142,026 | 143,982 | 145,990 | 142,525 | 148,914 | 151,930 | 145,552 | 147,969 | 148,705 | 184,290 | 195,181 | 199,726 |
| インキュベーション | 10,429 | 44,344 | 37,125 | 38,379 | 48,475 | 39,669 | 40,038 | 30,769 | 32,709 | 45,225 | 34,042 | 31,402 | 28,039 | 21,837 | 22,348 | 38,000 |
| 投資 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,250 | 15,000 | 15,000 | 12,915 | 9,999 | 10,000 | 7,917 | 5,000 | 5,000 | 5,000 |
| 連携 | 0 | 0 | 4,130 | 24,713 | 24,744 | 12,530 | 38,545 | 37,595 | 21,655 | 30,258 | 74,868 | 130,200 | 201,456 | 185,723 | 102,340 | 41,195 |
| 人材 | 0 | 5,447 | 8,629 | 6,576 | 6,785 | 7,809 | 13,699 | 12,922 | 9,525 | 8,969 | 47,363 | 48,574 | 63,105 | 55,889 | 40,788 | 55,837 |
| その他 | 0 | 0 | 502 | 0 | 2,240 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 売上合計 | 10,429 | 110,264 | 111,008 | 178,323 | 224,271 | 204,022 | 244,523 | 238,812 | 227,805 | 247,560 | 311,824 | 368,145 | 449,222 | 452,739 | 365,658 | 339,759 |



競争的資金の獲得

| 年 度 | 資金獲得先 | 事 業 名 | 資 | 金額 |
|-----------|----------|--|---|----------------------|
| 平成 14 年度 | 経済産業省 | 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 | | 40,000 |
| 1/2/11/12 | 小工///工术日 | 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」 | | 10,000 |
| 平成 17 年度 | 神奈川県 | 新産業創出拠点形成促進事業 | | 20,000 |
| | | 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」 | | |
| 平成 18 年度 | 神奈川県 | 新産業創出拠点形成促進事業 | | 22,000 |
| | | 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」 | | |
| | | 川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」 | | |
| | | 新現役チャレンジ支援事業 | | |
| | | 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム | | |
| | 中小機構 | 開発」 | | |
| 平成 20 年度 | | ビジネス・インキュベータ(BI)における広域的ネットワーク構築の調査事業 | | 25,600 |
| | | 「"グループインキュベーション "手法の開発と検証 ーネットワークによる支援 | | ,,,,,,, |
| | | と手法のネットワーク化ー」 | | |
| | | ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 | | |
| | 神奈川県 | 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 | | |
| | | 「静電エンコーダの事業化」 | | |
| | | 低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 | | |
| 平成 21 年度 | 経済産業省 | 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システム | | <mark>6</mark> 4,000 |
| | | の構築」 | | |
| | | 中小企業海外販路開拓支援事業(台湾ビジネスマッチング) | | 44.500 |
| 平成 22 年度 | 経済産業省 | 「神奈県域ビジネス・インキュベータ連携によるIT/エレクトロニクス分野 | | 11,500 |
| | | 研究関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」 | | |
| | 経済産業省 | 戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 | | |
| | ルバ圧水日 | B I ネットワーク構築事業 | | |
| | 中小機構 | 「T-BISCの整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」 | | |
| 平成 23 年度 | | 新産業ベンチャー事業化支援事業 | | 7,000 |
| | 神奈川県 | 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」 | | |
| | | 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 | | |
| | 相模原市 | 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」 | | |
| | | 戦略的基盤技術高度化支援事業 | | |
| | 経済産業省 | 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 | | |
| | | 高度実践型支援人材育成事業 | | |
| 平成 24 年度 | 神奈川県 | かながわ環境関連産業ネットワーク事業 | | 101,700 |
| | 州宋川宗 | かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業 | | |
| | 相模原市 | 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 | | |
| | | 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」 | | |
| | 神奈川県 | かながわ環境関連産業ネットワーク事業 | | 0.000 |
| 平成 25 年度 | 相模原市 | 新技術実用化コンソーシアム形成事業 | | 8,000 |
| | | 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」 | | |
| | 神奈川県 | かながわ環境関連産業ネットワーク事業 | | |
| 平成 26 年度 | | かながわ成長産業イノベーション事業 新技術実界化ファバーション事業 | | 33,900 |
| | 相模原市 | 新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」 | | |
| | | ・ハーノ 寸恒初ツ 外陸市同 別 千 秘 | | |

単位:千円



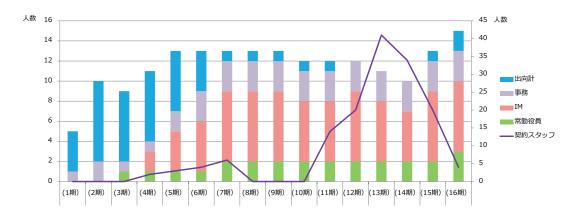
当社及び SIC ファンドの出資状況

| | | 当 | 社 | | | SICフ | ァンド | |
|----------|----|---------|----|------------|-----|-----------|-----|----------|
| | 入居 | 企業 | 地垣 | 龙企業 | 入 | 居企業 | 地 | 域企業 |
| 平成 13 年度 | | | 1社 | (2,400) | | | | |
| 平成 14 年度 | | | 1社 | (2,100) | | | | |
| 平成 16 年度 | | | | | | | | |
| 平成 18 年度 | 1社 | (5,000) | | | 4 社 | (120,000) | 3 社 | (71,000) |
| 平成 19 年度 | 1社 | (5,000) | | | 1社 | (20,000) | 2社 | (92,000) |
| 平成 20 年度 | | | | | 1社 | (20,100) | | |
| 平成 21 年度 | | | | | | | 1社 | (6,752) |
| 平成 22 年度 | | | | | | | 1社 | (15,000) |

*() 数字は金額 単位:千円

3-6

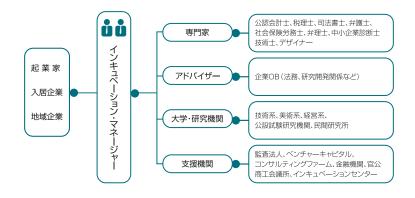
スタッフ数の変遷



| | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | (1期) | (2期) | (3期) | (4期) | (5期) | (6期) | (7期) | (8期) | (9期) | (10期) | (11期) | (12期) | (13期) | (14期) | (15期) | (16期) |
| 常 勤 役 員 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 非 常 勤 役 員 | 13 | 13 | 13 | 13 | 15 | 15 | 13 | 12 | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 | 12 | 13 |
| IM | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 5 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 | 6 | 5 | 7 | 7 |
| 事務 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 相模原市から出向 | 3 | 5 | 5 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中小機構からの出向 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 銀行からの出向 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 出 向 計 | 4 | 8 | 7 | 7 | 6 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 計 | 5 | 10 | 8 | 10 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 9 | 8 | 11 | 12 |
| 契約スタッフ | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 4 | 6 | 0 | 0 | 0 | 14 | 20 | 41 | 34 | 20 | 4 |
| パートタイマー | 0 | 1 | 1 | 4 | 2 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 4 |

3-7

支援ネットワーク





視察・研修

平成 26 年度 国内

| | 名 | 称 | |
|-------------|------------|-------------------|---|
| 視察 | | | |
| 豊島区 文化商工部 🕏 | 生活産業課 | | |
| 松山市 産業経済部 は | 也域経済課 | | |
| 関西学院大学 大阪産 | 業経済リサーチセンタ | z — | |
| 岡山インキュベーション | ンセンター | | |
| 韓国技術ベンチャー財団 | <u>च</u> | | |
| 関東経済産業局 | | | |
| アジア経済研究所 | | | |
| 島根県 | | | |
| 研 修 | | | |
| 財団法人 日本立地セン | ンター ビジネス・イ | インキュベーション(B I)研修 | : |
| 財団法人 日本立地セン | ンター インキュベー | -ション・マネージャー研修 | |

海外

| 年 度 | 名 称 | |
|----------|-------------------------------|--------------------|
| 平成 17 年度 | チュニジアベンチャーキャピタル協会 | チュニジア |
| | 海外技術者研修 | アジア、アフリカ諸国 |
| 平成 19 年度 | 集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー(JICA) | アジア、アフリ 月 中東、中南米諸国 |
| | モンゴル中小企業振興研修 | モンゴル |
| 平成 20 年度 | 集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー(JICA) | アジア、オセアニア、アフリカ諸国 |
| 平成 21 年度 | 集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー(JICA) | アジア、オセアニア、アフリカ諸国 |
| | 韓国インキュベーションスタッフ研修 | 韓国 |
| 平成 22 年度 | オマーン技術大学指導員研修 | オマーン |
| | 無錫市政府 | 中国 |
| | マレーシア国職業訓練校指導員研修 | マレーシア |
| 平成 23 年度 | 工業技術研究院 | 台湾 |
| | 中国山東省 (対日投資) 視察団 | 中国 |
| 平成 24 年度 | 中小企業支援法制度検討視察(JICA) | ベトナム |
| | 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修 | 台湾 |
| | (台湾貿易センター) | |
| 平成 25 年度 | アフリカ地域女性起業家支援セミナー(JICA) | アフリカ諸国 |
| | 台湾工業技術研究院 產業經濟與趨勢研究中心 | 台湾 |
| 平成26年度 | シンガポール国立大学 | シンガポール |



新聞掲載 (26年度)

| 年月日 | 新聞名 | 表 題 |
|------------|---------------|------------------------------|
| 2014.04.04 | 神奈川新聞 | 地元企業に就職を 支援サイト開設 |
| 2014.04.08 | 読売新聞 | 地元企業で就職 応援サイト 相模原などの46社掲載 |
| 2014.04.09 | 日本経済新聞 | 学生と地元企業つなぐ 就職支援サイト開設 |
| 2014.04.10 | 相模経済新聞 | 地元就職支援でHP 学生と企業をマッチング |
| 2014.04.10 | 相模経済新聞 | 「職場リーダー」養成で講座開設 |
| 2014.05.15 | 広報さがみはら | SICアントレ・インターンシップ |
| 2014.06.01 | 広報さがみはら | 子どもアントレプレナー体験キャンプ |
| 2014.06.10 | 相模経済新聞 | 優秀な学生 地元に就職を |
| 2014.08.10 | かながわ経済新聞 | "トヨタ式カイゼン"中小にも「SICカイゼン・スクール」 |
| 2014.08.15 | 広報さがみはら | 就職支援サービス「サガツクナビ」学生会員 |
| 2015.01.15 | 日本経済新聞 | 南西フォーラム「3Dプリンター分科会セミナー」 |
| 2015.02.27 | 神奈川新聞 | 情報スポット 企業間契約書のチェックポイント |
| 2015.03.05 | 日本経済新聞 | 3 Dプリンターに商機 |
| 2015.03.18 | 日本経済新聞 | 産業ロボット導入支援 |
| 2015.03.18 | 日刊工業新聞 | 産業用ロボ導入促進 |
| 2015.03 | Sagamachi | 新しい可能性はココにある!サガツクナビ |
| | (大学生の視点から見る情報 | 慧志) |
| | | |



「かわらばん」の発行 広報紙



SICかわらばん(入居企業版) 内容: 入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様そして当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居 企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月 発行しています。

| 発行 No. | 発行日 | 紹介企業名(入居企業) | |
|--|--|---|--|
| No. 119 No. 120 No. 121 No. 122 No. 123 No. 124 No. 125 No. 126 No. 127 No. 128 No. 129 No. 130 | 平成 26 年 4 月 1 日 平成 26 年 5 月 1 日 平成 26 年 6 月 1 日 平成 26 年 7 月 1 日 平成 26 年 8 月 1 日 平成 26 年 9 月 1 日 平成 26 年 10 月 1 日 平成 26 年 11 月 1 日 平成 26 年 12 月 1 日 平成 27 年 1 月 5 日 平成 27 年 2 月 2 日 平成 27 年 3 月 2 日 平成 27 年 3 月 2 日 | (株)アートプレシジョン (株)バンガードシステムズ アルバック理工(株) オフィス ハラダ 共進電機(株) 弁護士法人 髙瀬総合法律事務所 コロンバス精機(株) (株)フォーステックエンジニアリング (株)プロスリンク (株)ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ (有)テクノサージ | |



SICかわらばん(地域企業版)内容:地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとなり、 入居企業樣や地域企業樣に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

| 発行 No. | 発行日 | 紹介企業名(地域企業) | 紹介企業名(入居企業) | JETRO 協力企画 |
|------------|------------------|--|--------------------------------------|-----------------|
| No. 30 | 平成 26 年 5 月 1 日 | プライムダイレクト (株) | 木下敦子税理士事務所 | ※アジア経済事情と海外進出事例 |
| No. 31 | 平成 26 年 7 月 1 日 | (株)サワ | (株)東京 IT 経営センター | フィリピン編 |
| No. 32 | 平成 26 年 9 月 1 日 | 永進テクノ(株) | (株)アートプレシジョン | マレーシア編 |
| No. 33 | 平成 26 年 11 月 4 日 | 田中水力(株) | (株)バンガードシステムズ ME 事業部 相模原 R&D センター | タイ編 |
| No. 34 | 平成 27 年 1 月 5 日 | (株)永田農園 | アドバンス理工 (株) (旧社名 アルバック理工 (株)) | インドネシア編 |
| No. 35 | 平成 27 年 3 月 2 日 | 権田金属工業(株) | 共進電機(株) | ベトナム編 |
| SIC POSEA. | 30 SIC MADELEA | SICOND SICA SICOND SICA SICOND SICA SICOND SICA SICOND SICA SICOND SICOND S | SICMOBILA 33 SICMOBILA | SICOPOBILA 35 |

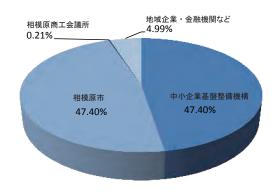


株主と役員

株主数:31者 発行済株式の総数:47,890株 資本金:23億9,450万円

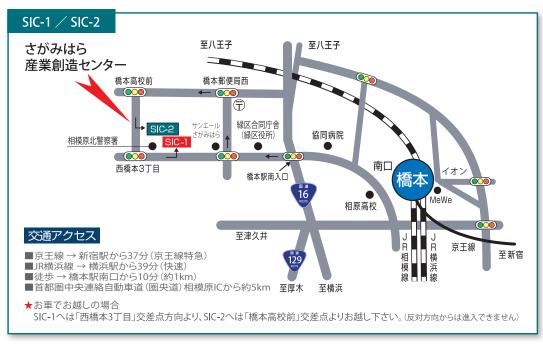
| 相模原市 | 独立行政法人中小企業基盤整備機構 |
|-------------------|------------------|
| 株式会社ボイス | 株式会社ハリマビステム |
| 古木建設株式会社 | 株式会社八千代銀行 |
| 株式会社横浜銀行 | 西武信用金庫 |
| 湘南デザイン株式会社 | 株式会社三菱東京UFJ銀行 |
| 相模原商工会議所 | 日本テクノ株式会社 |
| 城山工業株式会社 | 日本電子工業株式会社 |
| 三菱重工業株式会社 | 権田金属工業株式会社 |
| 株式会社相模運輸 | 相模原市農業協同組合 |
| 相模ガス株式会社 | 株式会社昭和真空 |
| 株式会社ア・ドマニー | 篠崎電業株式会社 |
| タイヨー印刷株式会社 | 東京海上日動火災保険株式会社 |
| 東邦電子株式会社 | 野村隆 |
| ブックオフコーポレーション株式会社 | アイシンク株式会社 |
| 石川幸二 | Apex 株式会社 |
| | |





| 代表取締役 | 中嶋隆 | |
|-------|--------|-------------------------|
| 専務取締役 | 山本 満 | |
| 取 締 役 | 松岡 康彦 | (湘南デザイン株式会社 代表取締役) |
| | 吉田修一 | (株式会社相模運輸 代表取締役) |
| | 山﨑 利宏 | (城山工業株式会社 代表取締役) |
| | 西澤 勇司 | (株式会社キャロットシステムズ 代表取締役) |
| | 杉本 祥一 | (株式会社ハイスポット 代表取締役) |
| | 古橋 裕一 | (相陽建設株式会社 代表取締役) |
| | 新津 昭博 | (相模原市 環境経済局 経済部長) |
| | 久保田 修 | (相模原商工会議所 中小企業振興部長) |
| 監 査 役 | 石川 幸二 | |
| | 原田 恒敏 | (公認会計士原田恒敏事務所 代表) |
| | 平田 光子 | (日本大学大学院グローバル・ビジネス科 教授) |
| | 山田 真矢 | (株式会社横浜銀行 相模原駅前支店長) |
| | 佐々木 一彦 | (株式会社八千代銀行 相模原法人営業部 部長) |







株式会社さがみはら産業創造センター Sagamihara Incubation Center Ltd.(SIC)

SIC-1/SIC-2 SIC-3

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119(代) Fax:042-770-9077 URL http://www.sic-sagamihara.jp